

様式3 令和5年度新座市学校評価システム学校運営協議会による評価シート

目指す学校像 (重点目標)	「学校大好き！輝くひとみいっぱい 栗原小学校」 ～はぐくもう 栗原MIND～
	○元気な学校 ○明るく美しい学校 ○自信と力のつく学校 ○保護者・地域とともにある学校

学校名	新座市立栗原小 学校
実施日	令和 6年 1月 17日

<記入の仕方>

- 「自己評価」及び「学校運営協議会による評価」の欄には、S A B Cを記入してください。
- 「自己評価についての説明」の欄には、その評価に至った理由及び自己評価の結果を学校がどのように受け止めるか特記事項がある場合のみ記載してください。

評価項目「組織運営」

質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校運営協議会による評価	学校運営協議会による評価についての説明
1	A	<ul style="list-style-type: none"> ・新校務支援システムの導入をうまく利用して、業務の効率化を図ってきている。ペーパーレスも進められたらと思う。 ・ワークシートやミニテストなど、ICT機器を用いて作ったものは資料箱などに入れて残し、共有する。 ・会議資料をデータ化する ・新校務システムに不慣れな面もあるが、なるべくいろいろな機能を使って新校務システムを活用したい。もしかしたら、「児童生徒ボード」「学級ボード」「いいとこみつけ」等は、所見の材料や生徒指導・学習指導の記録や情報共有になるかもしれない。 ・「本日の予定・共有」「明日の予定・共有」も表示されると予定が確認しやすくなるかと期待しています。「学校日誌」も徐々に手書きからプリントアウトに移行できるとありがたいです。 ・休暇はまだ紙申請なので、今後はシステムで申請していくようにしてもいいのでは、と思う。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ペーパーレスが進行。 ・保護者からは、通信等の手紙は、紙媒体よりも「電子の方がありがたい」との声が多い。
2	A	<ul style="list-style-type: none"> ・見直しと繰り返しの確認を愚直に続けていくことが必要。戸田市の侵入の事件を参照に門や校舎の施設等を検討する必要がある。 ・教員だけで緊急事態発生時の動きのシミュレーションを行う。 ・体育館とマロンの間の扉が開いていることが多いので、不審者対策としては閉めたほうがよいと思う。 ・（不審者対応）どのクラスにもさすまた等、武器になるものを置く。 ・チャイムを伴う放送（アナウンス）を聞く姿勢をもっと徹底させる必要がある。 ・避難訓練（不審者含む）は、教員のみが参加していて、事務や栄養士は参加していないので、本当に緊急事態が起きた場合、どういったように対処したらいいのかわからないので、参加するか、具体的な動き方など示してもらえると助かる。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・設備上の改善が必要。 ・緊急事態発生時の連絡方法について、メール配信など確認する。（親の安否を子供に知らせるには？） ・学校、保護者、地域（町内会）が協力して共にできる避難訓練を考えたい。（引渡訓練の日を活用する等） ・避難できなかった時の対応やけがをした場合、逃げ道がわからなくなった場合などの訓練や情報共有もしておいた方がいいのではないか。 ・先生方の上履きは常に靴がいい。

評価項目「学力向上」

質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校運営協議会による評価	学校運営協議会による評価についての説明
3	A	<ul style="list-style-type: none"> ・研推を中心に進めている校内研究も効果的であると思われる。 ・ロイロノートの活用に取り組んでいる。一から作るのは大変なので、共有フォルダを活用していきたい。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・職員によっては得手不得手があるが、協力している。 ・データを共有したり、積み上げて引き継いでいる。 ・ロイロノートの活用によって、生きて働く知識・技能、思考力・判断力・表現力、学びに向かう力・人間性等を育てる授業展開を教職員の協働によって創ってほしいと願います。 ・宿題をタブレットにされてしまうと、保護者はやっているのかいないのかが分かりにくい。
4	A	<ul style="list-style-type: none"> ・個別の支援が必要な児童への効果的な支援方法を研修していくことが必要 ・支援員さんを増やしてほしい。 ・個別対応が必要な児童へのサポートがもう少しあるとありがたい。 ・担任1人だと、低位の子の個人指導に時間がかかってしまうため、支援の方を増やしてほしい。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方々の教育力を生かして個別指導の必要な児童や基礎学力の定着が必要な児童の学力強化を図ってはどうでしょう。（長期休業中の一部の日時を活用して） ・資格などが必要ないなら保護者でも可能ですか？ぜひ手伝いたい。 ・外部の人材を活用したいが、それをシステムチェックに行うのが難しい。

評価項目「豊かな心の育成」

	質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校運営協議会による評価	学校運営協議会による評価についての説明
5	学校は、教職員自らが手本となり、児童が友達や教職員・来校者に進んであいさつしたり、場に応じた言葉遣いを実践したりできるようにしている。	A	・あいさつ、言葉遣いは教職員も常に意識していくことが大切。 ・高学年が進んで挨拶している姿を低学年の児童にもっと見せる。(児童のあいさつ運動等)	A	・子供たちは進んでよく挨拶してくれている。教職員のあいさつの方が気になる。 ・顔見知りでない人が来たら「あいさつする」というのが不審者への抑止力になるらしいので意識してほしい。 ・あいさつの様子から、地域の方々、保護者、外部の人々等学校内外の教育に関わる方々を大切にできる機運が感じられる。
6	学校は児童がお互いのよさや努力を認め合って学校生活を送れるような指導を行っている	A	・まずは褒めたり評価できたりするところはないかという視点で児童を見ることが大切。	S	・「1年生を迎える会」では、全校児童が一体となり歌を歌う姿に、互いを思いやりいたわり合う温かい人間関係がつくられていることを感じた。 ・異学年で行う行事が効果的に働いていると思う。(くりこまつりなど) ・子供たち同士で助け合ったり、フォローの声掛けをしたりする姿をよく見かける。

評価項目「健康・体力の向上・安全」

	質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校運営協議会による評価	学校運営協議会による評価についての説明
7	学校は児童生徒が体力向上に向け、体育の授業や休み時間などにおいて意欲的に取り組めるよう、指導にあたっている。	A	・体育の授業時間内で十分な運動時間の確保をした上で、休み時間の外遊びとPUを効果的に活用する。	A	・朝マラソンはとてもいい取り組みだと思うが、きめ細かい配慮が必要となってくると思う。 ・コロナ前に比べると否
8	学校は食に関する意識を高める食育に取り組むなど、計画的に健康教育を推進している。	A	・魅力的な給食をうまく活用したい。	A	・好き嫌いの指導をどのように行っているのか？みんなで食べることで、苦手なものも食べられる場合があるので、雰囲気的大事にしてほしい。

評価項目「保護者・地域との連携協力」

	質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校運営協議会による評価	学校運営協議会による評価についての説明
9	学校は、保護者や地域住民の意見を取り入れる機会を積極的に設け、学校に寄せられた具体的な要望や意見を把握し適切に対処している。	A	・無理のない範囲でのお互いの協力関係をこのまま続けていきたい。 ・コロナ後、少しずつ地域の方々との連携が取れ始めている。 ・懇談会や、個人面談などで保護者から出た要望(学校全体にかかわること)について共有を図る場があってもよいと思う。	A	・教職員も積極的に地域に足を運んでほしい。 ・校内の掲示物、作品等が児童・教員・地域の方々で成す一つの「アート会館」のような趣があり、居心地のいい空間になっている。
10	学校は、学校だよりやホームページなどで、教育活動の様子や成果・課題などについて定期的に情報提供している。	A	・学校だより等のお手紙類を電子化した。さらなる活用を模索したい。	A	・電子化した手紙類は、カラーで見られるのでよかった。 ・学校だよりやHPの内容について、学習面の取り組みを